

災害救護速報

平成 29 年 7 月 6 日（木）14：30 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
TEL：03-3437-7084/FAX：03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます

平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に伴う日本赤十字社の対応について（1）

標記災害に伴う日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 気象の状況（気象庁情報による）

- 福岡県と大分県では、これまでに経験したことのないような大雨となっている。九州北部地方を中心とした大雨は 7 日にかけて続くため、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒が必要。
- 梅雨前線が西日本に停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、西日本を中心に大気の状態が非常に不安定となっている。梅雨前線は 7 日にかけて西日本に停滞する見込み。
- 九州北部地方を中心とした猛烈な雨は 6 日朝にかけて続き、7 日も局地的に非常に激しい雨が降り、大雨となる見込み。
- 5 日 17 時 51 分に福岡県に大雨特別警報が発令。
- 5 日 19 時 55 分に大分県に大雨特別警報が発令。
- 6 日 14 時 10 分、福岡県及び大分県全域の大雨特別警報解除。

2 避難の状況等

避難指示（緊急）、避難者数

都道府県名	市区町村名	対象世帯数	対象人数	実避難者数
福岡県 (※1)	久留米市	132,959	306,512	343
	うきは市	1,900	5,686	84
	嘉麻市	3,745	8,733	13
	朝倉市	21,256	54,412	968
	筑前市	6,646	18,235	0
	大刀洗町	38	104	0

福岡県	添田町	2,915	6,188	169
小計	5市2町	169,459	399,870	1,577
大分県	中津市	4,177	9,187	787
(※2)	日田市	12,651	40,033	1,002
小計	2市	16,828	49,220	1,789
合計	7市2町	186,287	449,090	6,732

※1 7月6日7時40分福岡県発表資料による。

※2 7月6日6時30分大分県災害対策本部発表資料による。

3 日本赤十字社の対応

7月6日11時00分現在、日本赤十字社各県支部・施設における被害は確認されていません。

(1) 本社及び支部の対応

ア 福岡県支部

7月5日

16:00 第1次救護体制にて情報収集を実施。救護担当職員による当直体制。同支部日赤災害医療コーディネーターと状況を共有。

7月6日

08:30 福岡県庁及び朝倉市役所災害対策本部に支部職員をリエゾンとして派遣し、情報収集を実施。

09:40 支部事務局長、事業部長、日赤災害医療コーディネーターの医師を福岡県庁に派遣し、医療救護の調整を実施。

10:50 被災した地区からの要請をうけ、朝倉市及び大刀洗町へ毛布やタオルセット等物資を運搬。

12:30 医療ニーズの調査のため、要員の派遣準備。

イ 大分県支部

7月5日

20:05 第1次救護体制にて情報収集を開始。支部職員を大分県災害対策本部へリエゾンとして派遣し、情報収集を実施。救護担当職員が支部待機。

7月6日 県災対本部に引き続き支部職員をリエゾンとして派遣。

同支部日赤災害医療コーディネーターが支部に入り、情報収集等を実施。

ウ 佐賀県支部

7月6日

09:30 第1配備体制にて情報収集等を実施。

エ 熊本県支部

7月6日

08:45 被害状況及び救援物資の不足の有無等について地区・分区から情報収集を実施。

オ 本社

7月5日

18:00 第1次救護体制にて情報収集を開始。

7月6日 引き続き第1次救護体制にて情報収集等集を実施。

4 災害救助法の適用

標記災害により、多数の者が生命または身体に危害を受け、または受けるおそれが生じていることから、福岡県は2市村、大分県は2市に災害救助法が適用されています。(平成29年7月6日発令)